



調教記録

乙女達の舞の

気が付くと謎の部屋にいた。

身体は火照り、何かのクスリを打たれたみたいだ。

目の前にはキョロキョロと周りを見回す男が二人。
私は、ひとまずこの身体の火照りを止めるため
目の前の男を利用することにした。

ねえ、あなた
お姉さんとイイコトしない？

娼婦のようないやらしく

股間に伸ばした指で水音を立てながら近づいていく。



ああ、ダメだ。

考えがまとまらない。

頭のなかはセックスをすることしか考えられなくなっている。

トップスから胸をはだける。

人より大きな胸に、男の目は釘付けになった。

私の自尊心が満たされ、わずかに心に余裕が戻る。

ふんっ

じゅん

さあ、はやく

獣のように私の身体をむちやくちやに
犯し抜いて欲しい。

んああー！

ぺろっと唇をひとなめし

大きな乳房を乱暴に揉みしだく。

ただそれだけで、絶頂を迎えてしまった。

ずいぶん強力な薬なのだろう。

はやく、熱い肉棒で私の肉穴をかき回してもらわないと

気が狂い死んでしまいそうよ。



男は勢い良く立ち上がりこちらに向かってきた。
その時、私の四肢を何かが捉えた。

なにによれー!

四肢に巻き付く布は強固で
まったく身動きがとれなくなった。

男はまったく気にした封もなく。
いや、むしろ都合がいいとばかりに
私に襲いかかってきた。

力が吸い取られるような感覚。
この布の力か、あるいは目の前の男の力か。

このままでは、身動きがとれないまま
私はなすすべもなく、男に蹂躞されてしまう。

そんなことが頭によぎると
下半身が濡れるのを感じた。

どうして、そんなバカな……。

ピョ
ん

ピョ
ん

くぱっ

ああー！
ちよつとまっつてー！
ねえ、この布を外して頂戴！
……んあー！

気持よく、させて、あげるから
ねえ、お願いよ…

私の懇願もまったく耳に入っていないのか
男は私の秘所を弄っていく。
くちゅくちゅと水音を聞かされるたびに
ますます私の身体は反応していった。

んぐおとおおお!

怒張した肉棒が二気に私の穴を串刺しにする。
すんなりと受け入れられた肉棒は
ありえないほどの大きさを、私の内蔵を
膣内から圧迫してくる。

ズッポッ
ニジュポッ

ドスンドスンと、脳内に子宮にたたきつけられる肉音が響く。
そのたび目の羽目は真っ白にスパークし
気が遠くなつては、また衝撃によって意識を戻される。

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ
あ、あ、あ、あ、あ
あ、あ、あ、あ、あ

あ……

The illustration shows a blonde woman with long hair, wearing a black bikini. She has a large, pixelated penis on her chest. The scene is set against a dark background with some sound effects and dialogue. There are pink and orange sound effects around the penis, and a speech bubble with the character 'あ' followed by a vertical ellipsis. There are also two vertical lines of Japanese text on the page.

どこかの扉が開くような音を聞きながら
私の意識は闇の中へ飲み込まれていった。

私の身体に
一体何が起こったのだろう……。

ム
ン

ク
ワ
ッ

ゴ
ホ

ゴ
ホ





目を覚ませば、さっきまでの男とは違う男が
私を組み伏せていた。

くっ、ここは、一体どこなの？
なにが目的で、私をこんなところに

私の声が聞こえているのかいないのか
男はかまわず私の身体を蹂躪し始めた。

どういふことか、ますます私の身体は
いやらしくなっていた。

乱暴に地面に押し付けられるたび
体の奥が熱く滾ってくる。

ただのマゾヒズムなんてもものじゃない。
乳首は熱く尖り、子宮は疼き
私のすべてが男を求め始める。

ここのー

早く放さないで、後でひどいことになるわよー！

嘘だ。

むしろひどいことをしてほらして
願っている自分がある。



お、お、お

お、お、お...!



んぎょー！
ぎやあああー！

あろうことか、男は膣ではなく
尻に入れてきた。
みちみちと肉が裂ける音がする。
腹が避けるような衝撃に
今までにないほど熱く狂いそうになる。

バシ
ズグ

ビュルルル

ぐふ
お、おなかが、焼けちやいそら
ああ、はいつてくる
熱いのが、いっぱい

とまらないザーメンが
腸壁を叩くたびに小さく絶頂を迎える。



んばあ

んっ..

脳みそがとろとろに溶けたようだった。
尻穴に力が入らず、開きっぱなしになっている。
空気にさらされ、肉に風が当たるたび
快感の波がやってくる。

ああ、狂ってしまいそうだ。
いや、もう狂っているのかもしれない。



猛烈な便意に、意識がはっきりする。
まずい、このままでは無様な姿を晒してしまう。

しかし、男の腕はますます力を込め
私の身体を拘束する。

ぶっぶっぶっ...ぶっ ぎゅぎゅぎゅ

もう、もどれない。
こんなこと覚えてしまったらわたしは……。

下品な音と悪臭が部屋に満ちる。
しかし、羞恥心よりも、糞が肛門を通る快感に
私の脳みそは焼かれてしまう。

んがあああああああ！

↑ポッ
リ
リ
リ
リ
ピッ
リ
リ



ポト

ポト

ああ、きもちいい

うんこ…きもちいいよお

もう、魔術だとかどうでもいい

もっと、気持よく、なりたい

びん

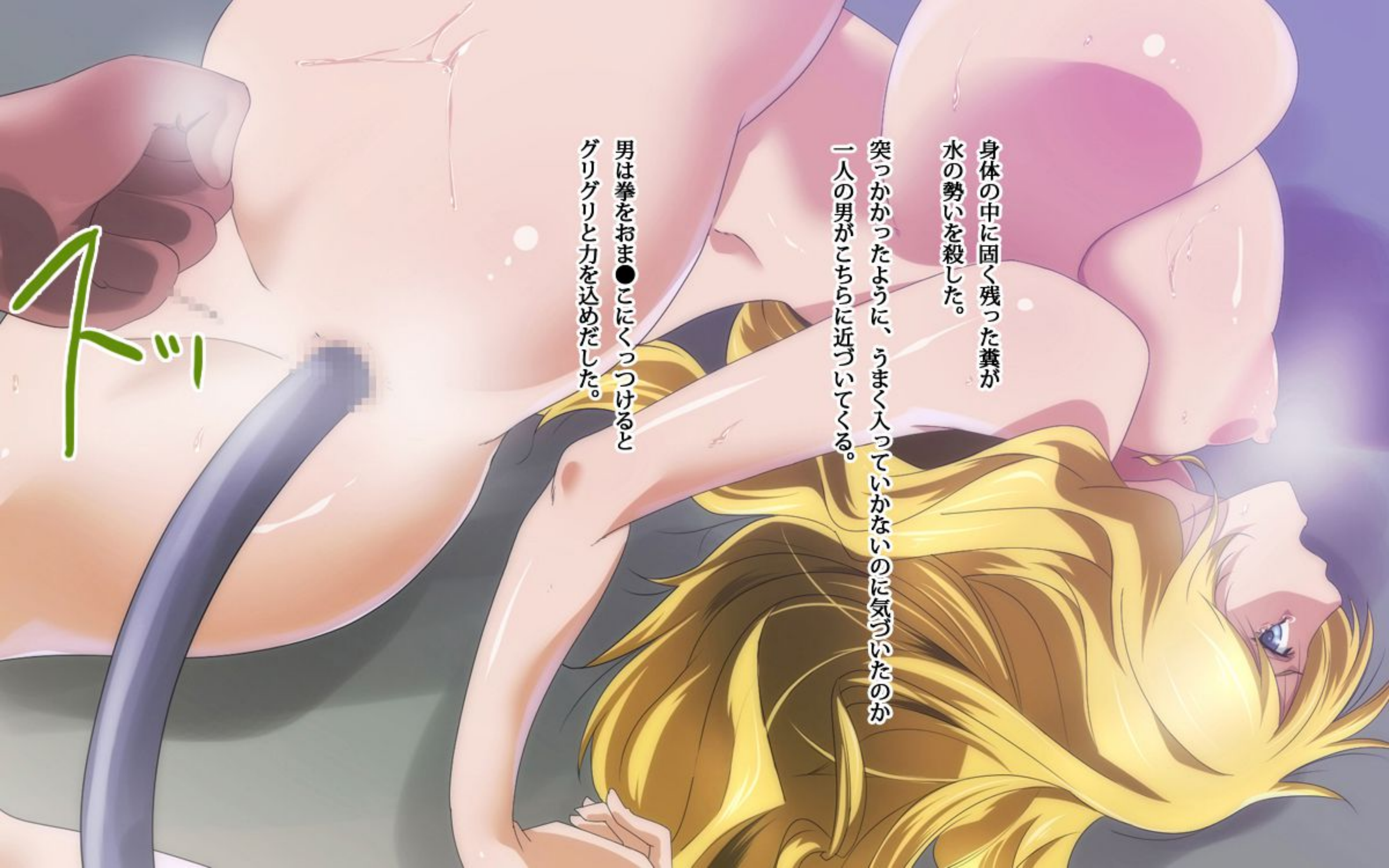
びん

か……は……

身体の自由が効かず、声も出ない。
麻酔を打たれ、意識だけはそのままに
身体の自由を奪われてしまった。

次はなにをするのだらうかと思っていたら
尻にホースをつっこまれ
そこから冷たい水がどンドン送り込まれてきた。

スポポポ



身体の中に固く残った糞が
水の勢いを殺した。

突っかったように、うまく入っていかないのに気づいたのが
一人の男がこちらに近づいてくる。

男は拳をおま●こにくっつけると
グリグリと力を込めた。

アッ



ドブゴッ

グッ
グッ

グッ

男は勢い良く拳を付き入れ、膣内をかき回し始めた。
あちらこちらにと好き勝手に暴れている。

肉壁ごしに子宮側から腸をしごいているみたいだ。
子宮口もガリガリかきむしられ

鈍くなった感覚でも絶望的なまでに快感が押し寄せる。

ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ

そして、ようやく糞をほぐし終えたのか
ホースからの水が二気に入ってきて
腹が妊婦のごとく膨らんできた。

グボポ

ゴプ

ググ

腸から胃、食道に
体の中のものがどんどん逆流してくる。
気持ち悪い。
はずなのに、なぜだろう
すでに何度も絶頂している。
ああ、お腹が苦しい。
おま●こが苦しい。
苦しくて気持ちいい！

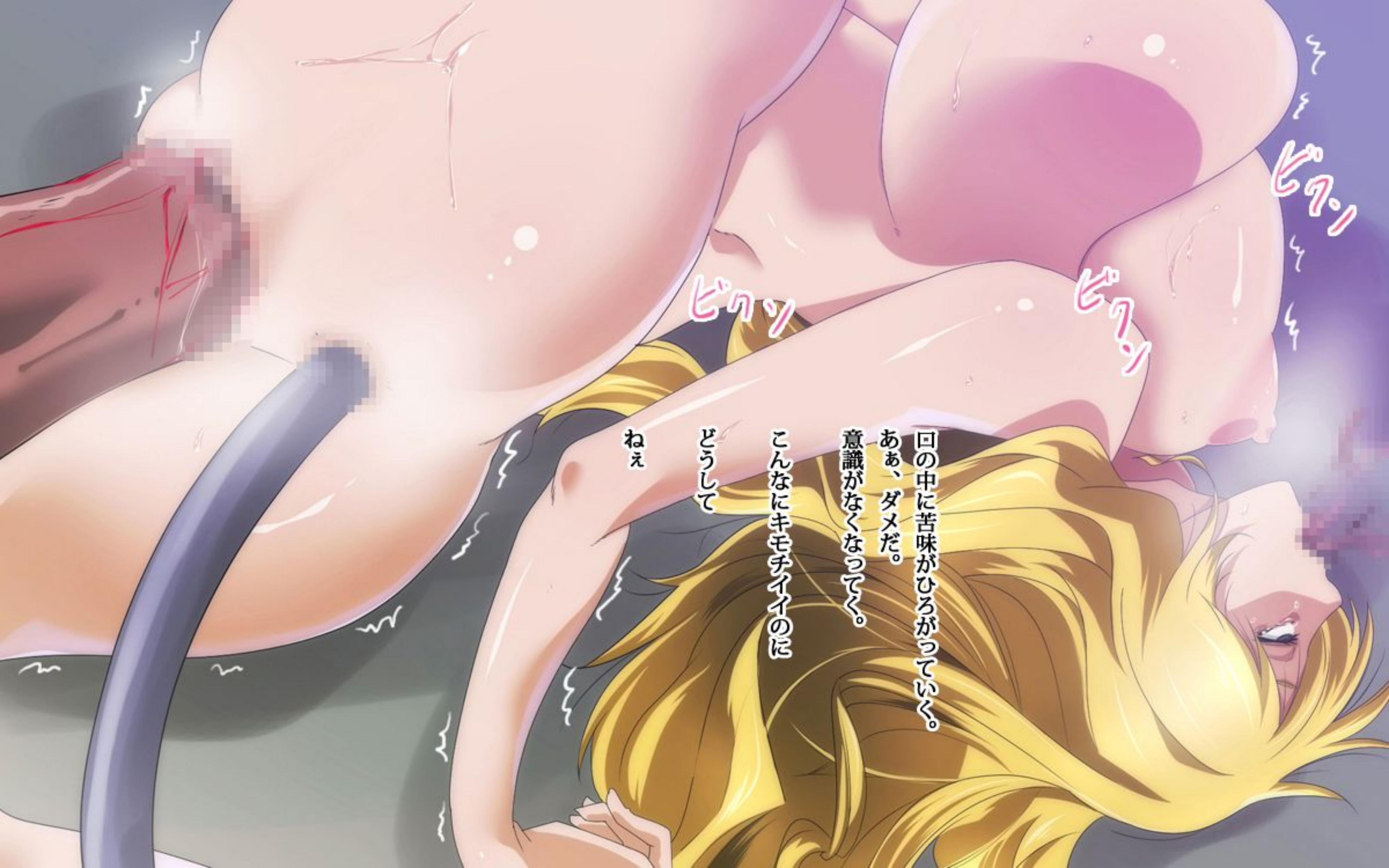


がぼ、
がぼぼぼぼ

が、くぼお

が、くぼお！

ゴボオ



回の中に苦味がひろがっていく。

ああ、ダメだ。

意識がなくなっていく。

こんなにキモチイイのに

どうして

ねえ

あれからどれくらい時間が立ったんだろう。
ここは何かの研究所ということがわかった。

ろくな研究ではないのだろうが
私はここでモルモットとして飼われている。

ぐき…苦しみます
いらい、さきできな……

ゴッポ

ガッ

ガッ

口もおま●こも巨大なチ●ポで塞がれ
首を絞められ、滅茶苦茶にレイプされる。

死を感じる程のプレイほど
私の身体は強く絶頂する。

ああ、最高。

もっと、強く、むちゃくちゃに……

んはあああああー！
ザーメンきたあああああー！

喉の奥から胃袋直接妊娠されちゃうー！

ずずう

んほお

ん

ん

んんんんんんんんんん

ドビッ





んっおっおっおっ!

んっ

んっ

アッ

びしょ
びしょ

んっ



ん...んんんん...

んんんん

んほ...

ドグッ

ドグッ

ジュ

グッ

ジュ

ドグッ

ジュ

ジュ

ドグッ

んんんんんん

あははははは！

かーっ

ねえ、遊んで遊んでえ

かほ。

くっっ

あははははは



ぞう、おへの子宮の蓋をはずすの
おもしろいわーいー

ああ、内蔵全部引っ張られるの
最高お





ぐわわわわわ

ぐわわわわー

ぐわん

ぐわわわわわー

2000

ビクッ

ビクッ

んはああん
また、なおしてもらわなきゃあ…

んんんんんんんん

あははははははは

ズルリ
コッ コッ



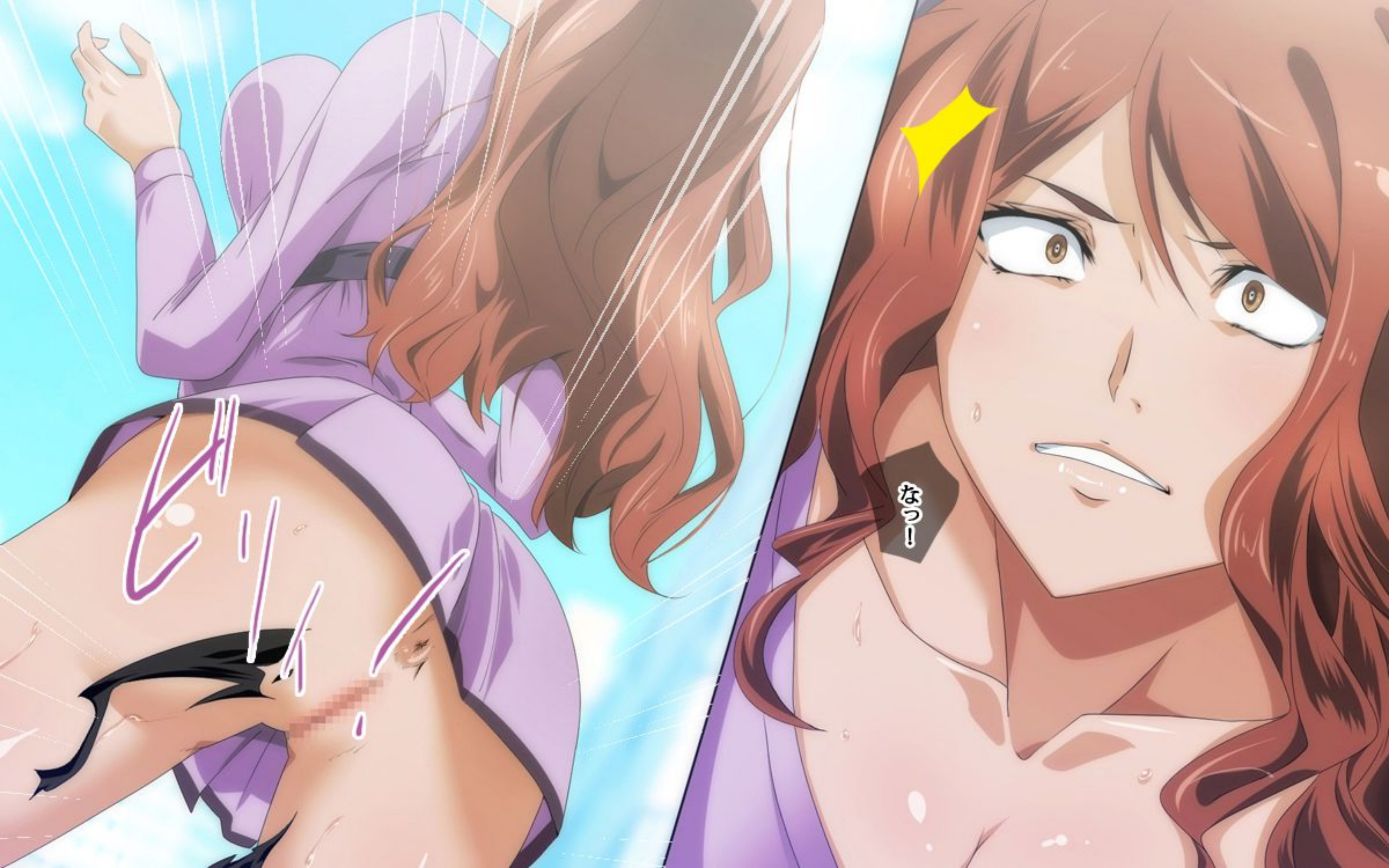


ガッ

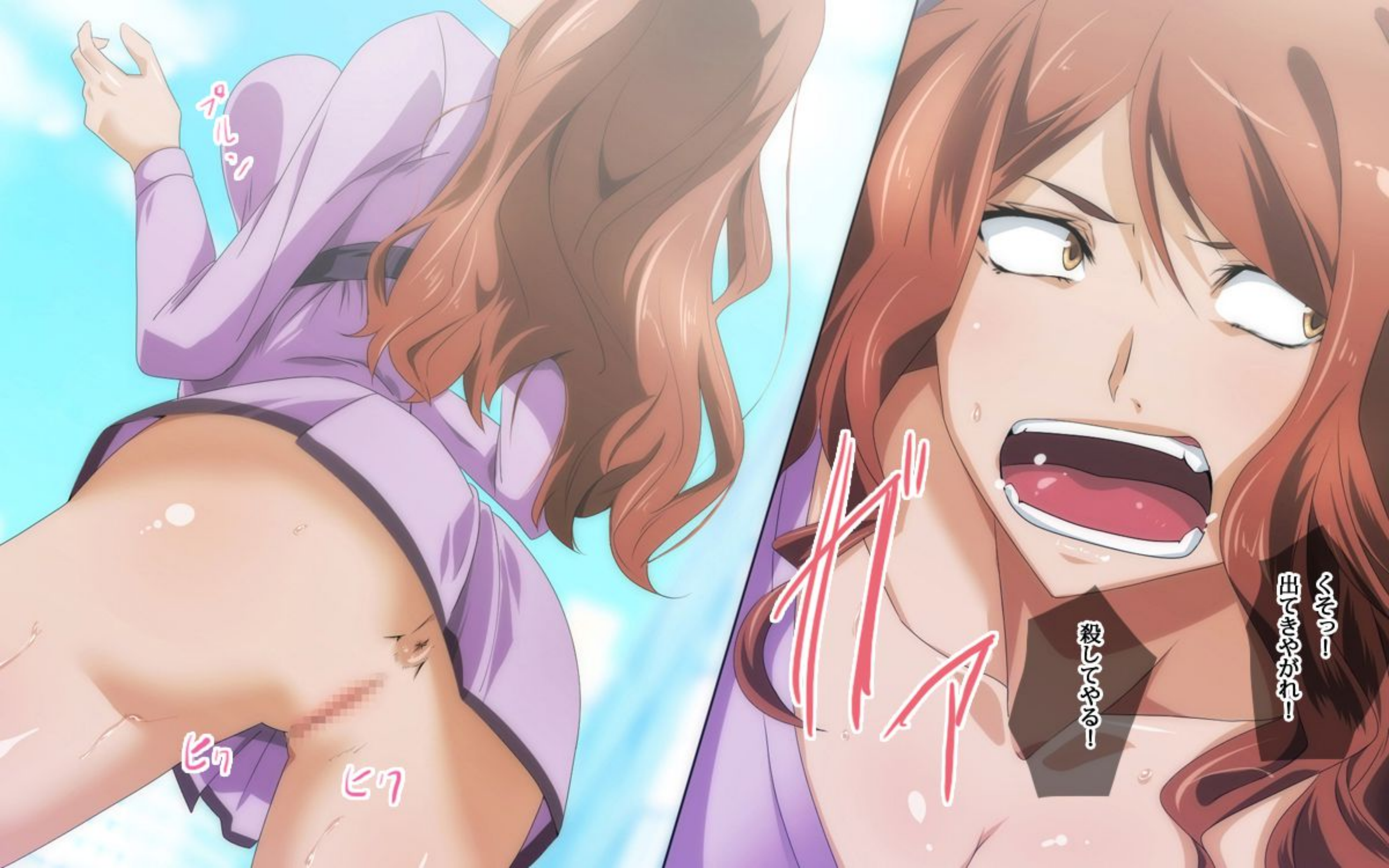
ガッ...

どこの糞野郎よ
身体が...動かない!

なに?
なに?



なっ！



ぴん

ぴん

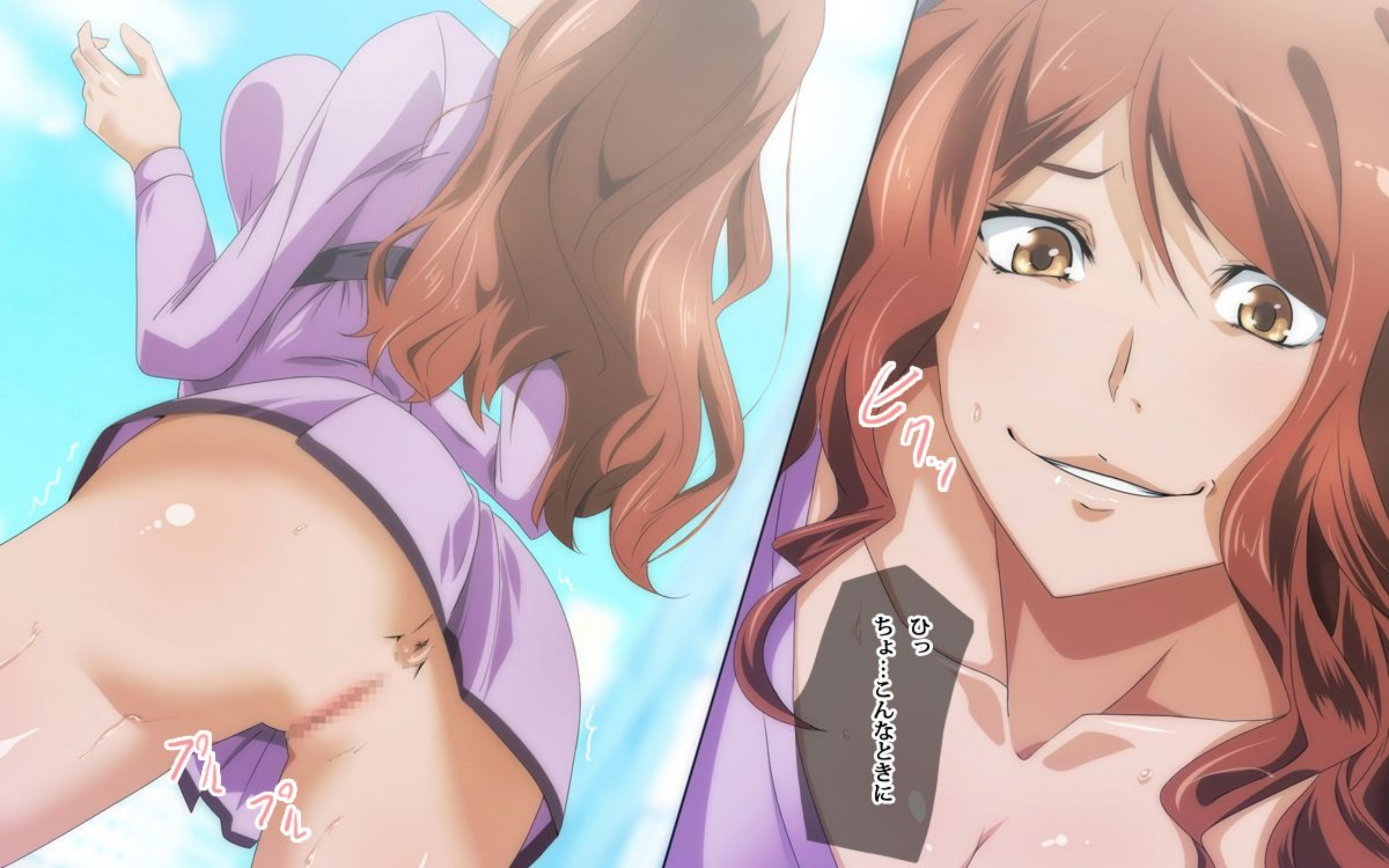
ぴん

殺してやるー！

殺してやるー！

殺してやるー！

殺してやるー！



びゅん

ちゅん
ちゅん...ごんごんごきん

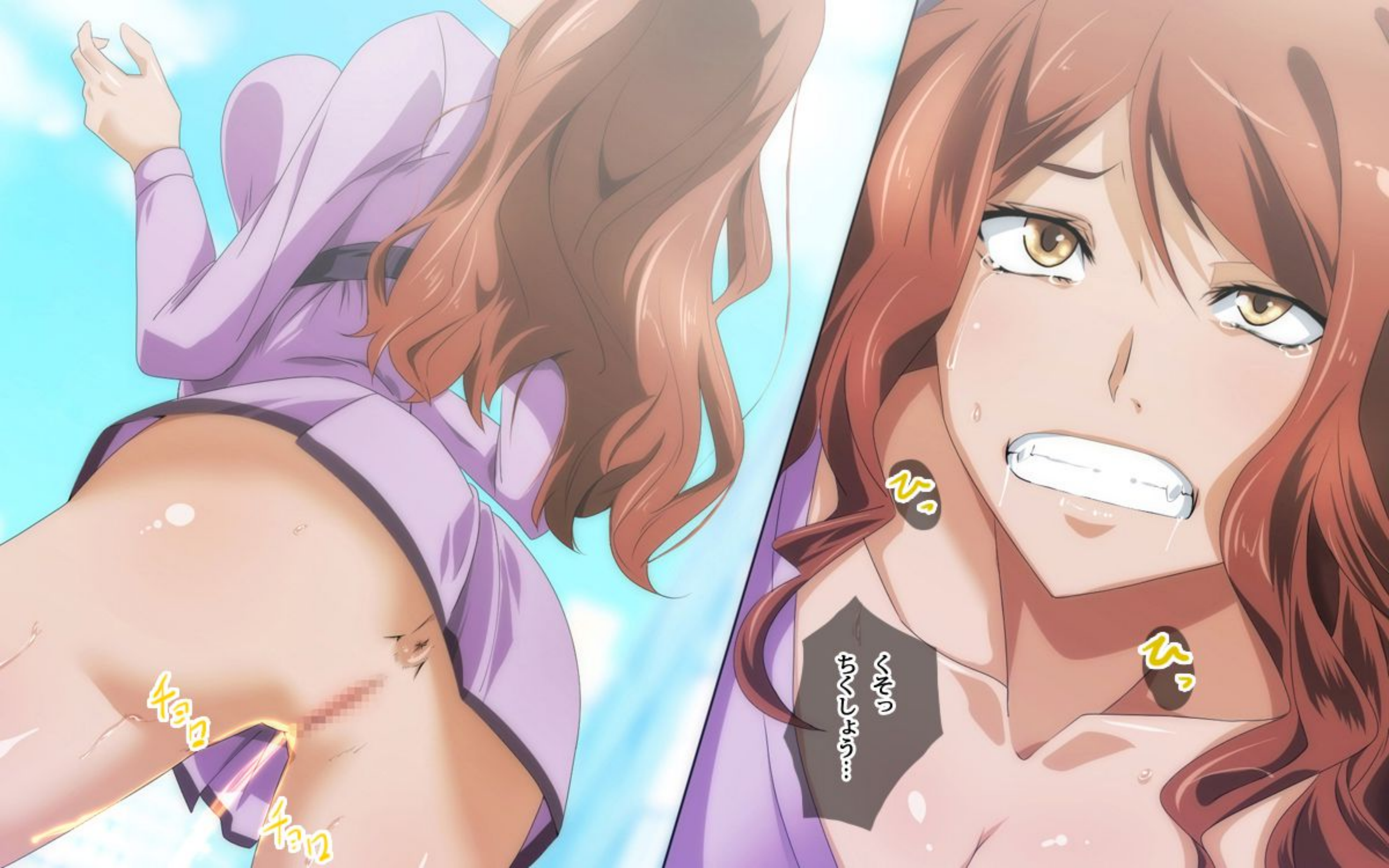
びゅん



ま、まで、まっでー！

あ、ああああー！

ど、止まってよおおおおおお！



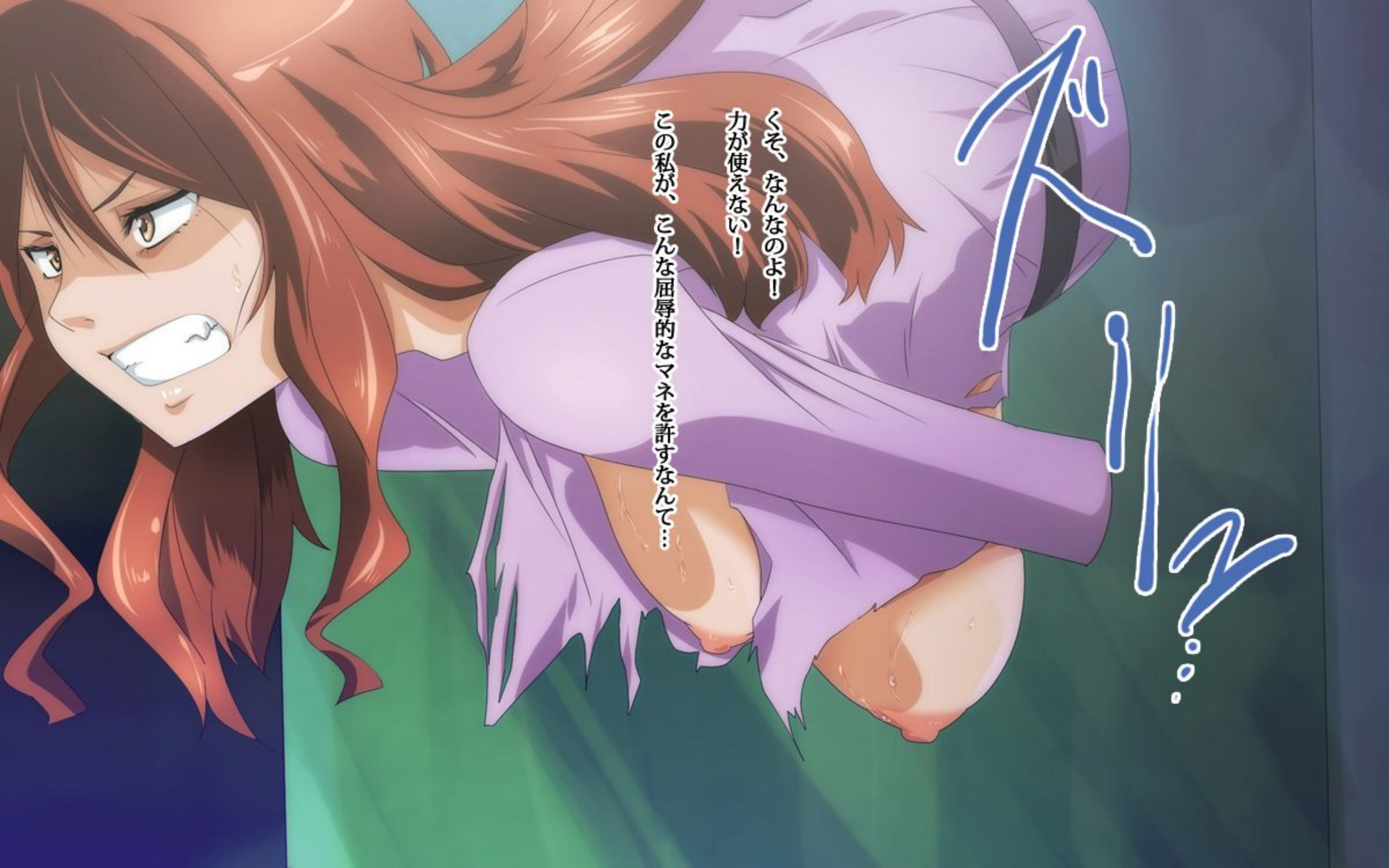
ふっ

ふっ

ふっ

ふっ

ふっ
ふっ



くそ、なんなのよ！
力が使えない！

この私が、こんな屈辱的なマネを許すなんて…



くそが！
放せ！
殺す！絶対に殺す！

グ
ッ

ゴ
ルン

ガ
ッ
ッ



「この…
この程度の能力…私にかかれば！」

キィ

キィ

キィ

むぐらー！

この、クズが！

私の口にこんな汚いもの突っ込みやがって！

こんなもの
噛みちぎってやるよ！

グッ
グッ
グッ



な、どうして！
顎に力が入らない！

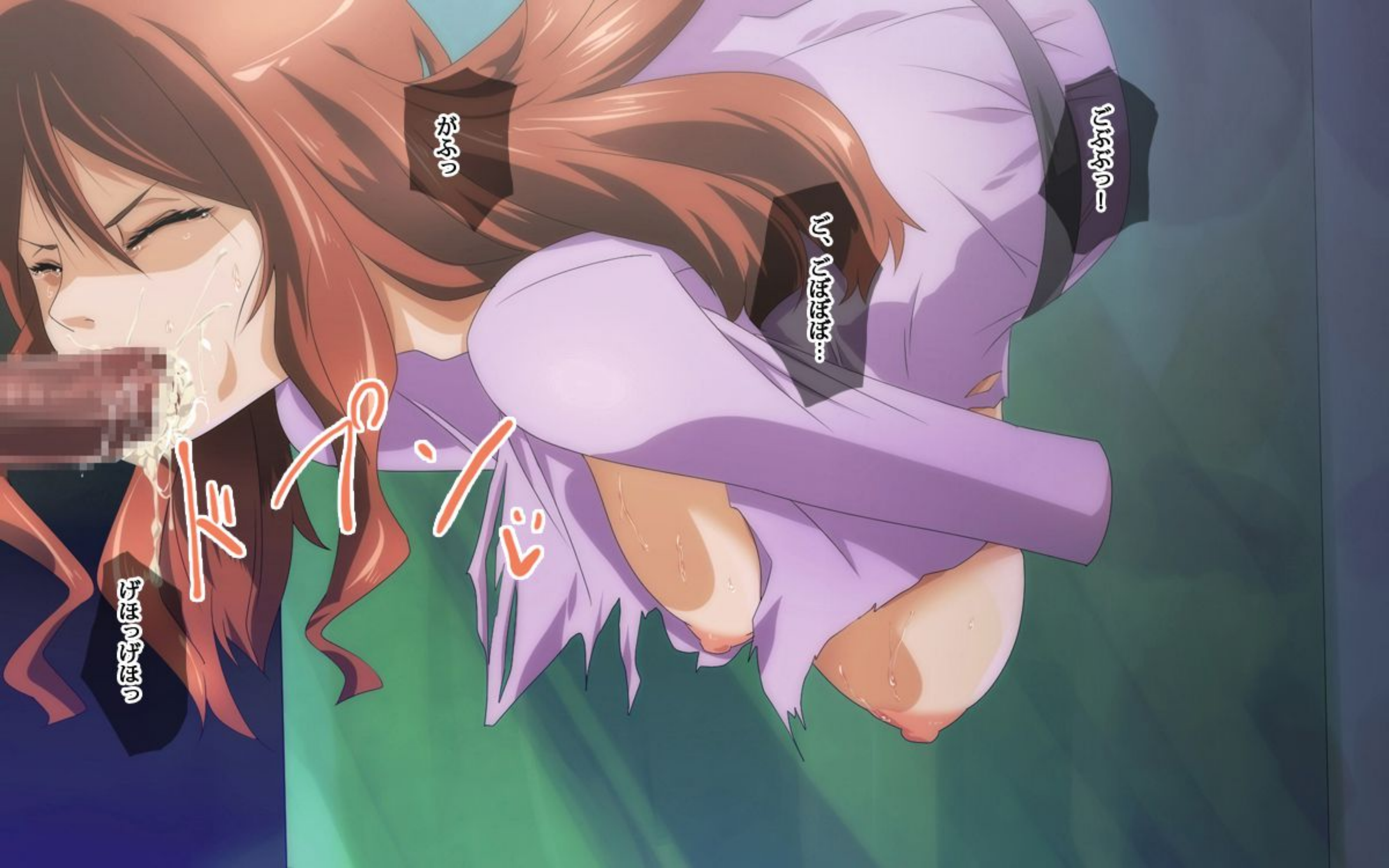
こ、この壁が原因か？

ちくちくしょう！

絶対に絶対に絶対に
絶対に絶対に絶対に
絶対に絶対に絶対に
許さない！

グァッ

ムグ



がら

がら

がら...

がら

がら

がら

がら

がら

う、ぐおおお…
な、なんだこれ
頭が朦朧として……

ズルルルル

あれ？
なにやっってるんだっけ？



がはっ

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

くっ

まんまと畏にハマったってやつね

身体が上手く動かない上に
能力まで……

かばっ

さて、この下衆どもを
どうやって殺してやろうか……

ぐっ

おい、テメーら！

この私にこんな真似して
ただで済むと思ってねーだろうな？

カスどもは私の言葉を聞いても
まったく反応を示さない

どこかの組織の人間か

今なら全殺しは勘弁してやってもいい
とつとこの妙な能力を解きな！

おい、聞いてんのか！

くそっ！能力さえ使えれば
お前らいつとき！

……な、なにをする！
おい！こっちに来るな！

や、やめる！
そのおかしなものを近づけるな！

ギョ

くそっくそっ

やめろおー！

あ、あついでい！
私を汚すなあ！

手に持った謎の液体を私の中に注いでいく。
液体はまるで染みこむように身体の中に浸透していく。
そして、全て注ぎ終わったあと
カスどもはスタンロッドを手にとった。

トプ
トプ

グニャ

ピュッ

あまりの激痛に、意識が消えそうになる。
私の子宮は無事だろうか。
ミンチのように潰された子宮を想像し
吐き気が襲ってくる。

勢い良くスタンロッドを身体の中に突き入れ
一瞬体が串刺しになったかのような錯覚に襲われた。

ムニャ

ピュッ

ピュッ

そのカスはあるうことか
スタンロッドを力任せに
私の膣内をかき回し始めた。

ぎゃー！
ぐがあー！

てめえー！
ごころ…おぐらー！

ぐはー！

内臓を鉄の棒でぐちゃぐちゃ蹂躪される衝撃で
私は死を覚悟した。

グチャア
グチャ
グチャ

カチッ

軽いスイッチとともに
すさまじい衝撃が全身を駆け巡る。

カスはためらいもなく
スタンロッドのスイッチを入れた

身体が電流に反応し
激しく痙攣を起こし
その衝撃で
膣の奥にスタンロッドが
深々とますます突き刺さる。

か……は

焦げた肉の匂いが立ち上ってる気がした。
私はまだ生きているのか。
永遠につづくとも思われた地獄は
ようやく終わった。

プス

プス

ヒョ

ヒョ

ヒョ

エ



連れて来られたのはどこかの倉庫だった。
気味の悪い連中が集まっている。
こいつらの目的は何だ？

グァン...

はだかのまま天井に吊るされ
未だ自由に動かない身体を支えながら
連中の目的を考えた。

私個人に対する復讐か、それとも組織への敵対か
どちらにしろ、こいつらには
地獄を見てもらわなければ気が済まない。

ヒィ

ヒィ

くっ、くっ、くっ……

もはや何度行われたのかわからない陵辱。

いつまでたっても能力は戻らず

カスどもの性処理ばかりが繰り返された。

グッ
グッ
グッ

絶対に…殺す

もはや、口癖にもなった言葉をこぼす。

うぐすつ

私の心は折れそうになっていた。

戻らぬ力、休まるときのない陵辱。

助けは来ず、生まれた時から続いてきたのかと錯覚しそうになるくらい
記憶のすべてが陵辱に染まっていく。

ドビッ

わん...わん...

せせせ...

殺したい——が、死にたいに変わったころ
私はもう逆らう気力もなく
なすがままに汚らわしい物を受け止める肉となっていた。

そうになると、カスどもは退屈なのか
陵辱する時間が少し減った。

このまま、いつか開放される時が来るのか
それとも、このまま朽ちていくのか
もう、なにも考えられなくなっていた。

ひっ
な、なんだこの！

いつものように陵辱をするだけかと思ったら
その日は違っていた。

アッ！！

そいつは大きな両手を私の膣に近づけ、指を一本、二本と
肉をかき分けて挿入してきた。
みりみりと肉が張りちぎれる音が聞こえた気がした。

両手の指を挿入したそいつは、力任せに私の膣を拡張した。

やめるー！
やめ、やめてえー！

くそー殺す！殺す！
死ね！死ね！
殺して！もう殺して！

ぎぎぎ
ぐぎやあああー！

ガッ

カッ

ギィ

ミィ

どぼ

プチプチプチ

肉が引きちぎれる。

ぐちやぐちやぐちや

肉がかき回される。

—あ……

何かが頭のなかでキレた。
子宮に貯めこまれたザーメンが
一気に排出される。

私はこの瞬間死んで生まれ変わった。
人間から、肉奴隷へと……。

ドク

ドク

はひはひはひ……

ザーメンが流れる。
ああ、もったいない……。

ポッパッ

せつかく、ご主人様たちが注いでくださったのに。
ああ、ごめんなさいごめんなさい。

ああ、おしっこ気持ちいい。

ああ、ごめんなさいごめんなさい。

わるい奴隷におしおきをください。

おつらでも、おま○んでも
お好きに使ってください

グイーン

ああん、おねがいますう
惨めな奴隷に、お情けをください...

ク/10

もっと、もっと奥に突っ込んでください！
ゆるゆるのガバマンだから
子宮潰れるくらいに突っ込んでほしいと
すぐ落ちちゃいますわー！

ビクッ

んああー！
あ、あ、あー！
きもちいいわー！

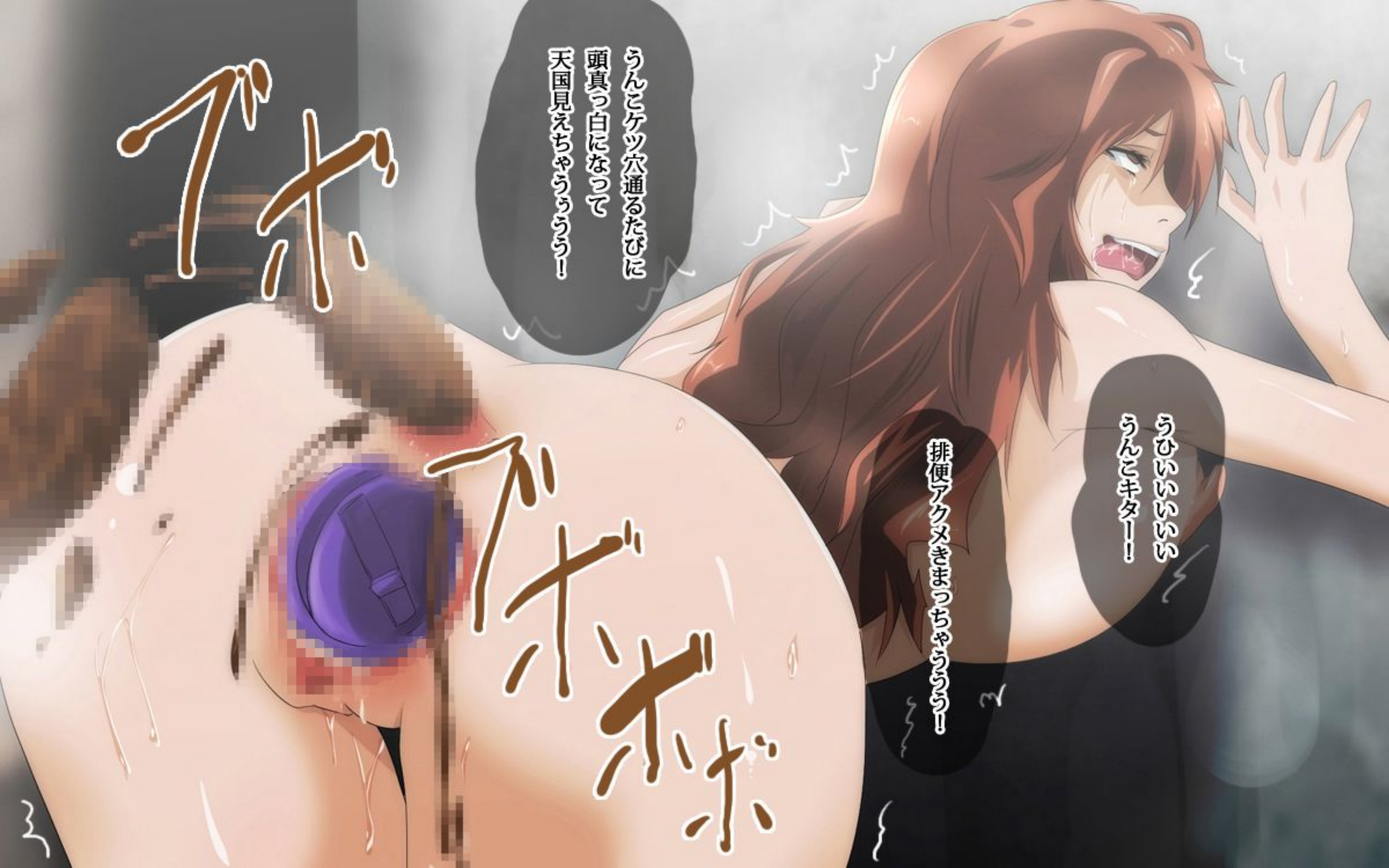
ガボッ

壁越したパイプぶっからって
肉壁削れて、おま○ことケツアナが
ひとつになっちゃりますうー

んほおおお！
キタキタキター！

んによほお！
子宮の中まで
パイプ貫通して
ぐちゃぐちゃかき混ぜられて
きもちいれすう！

ニ
く
ぽん！
ニ
ニ



うんこケツ穴通るたびに
頭真っ白になって
天国見えちゃうううう！

うひひひひひひ
うんこキター！

排便アクメきまっしちゃうううう！

ボ

ボ
ボ

おまへ
おまへさま

正正正
下正

ごゴニ肉袋の
ご利用をお願いします

おまへさま
おまへさま

おまへさま
おまへさま

おまへさま

おまへさま
おまへさま
おまへさま

おまへさま

おまへさま
おまへさま

おまへさま
おまへさま

おまへさま





ドキ

あぁあぁ...
あぁあぁあぁあ
あぁあぁあぁあぁあ

ドク

まだまだ子宮の奥が
あいてますよお
もっともっと、
おっきいゴキンを
おねがいします

タニキ

みる in
みる in

シリシリ

クク..

ミルクマン

月水
日集又

ああああああああ
まって、まってえー！

プルッ

お腹痛い
痛くはない

お腹痛い
痛くはない

もっとはらるからー！
たくさんはいるからー！

もえる
グッ

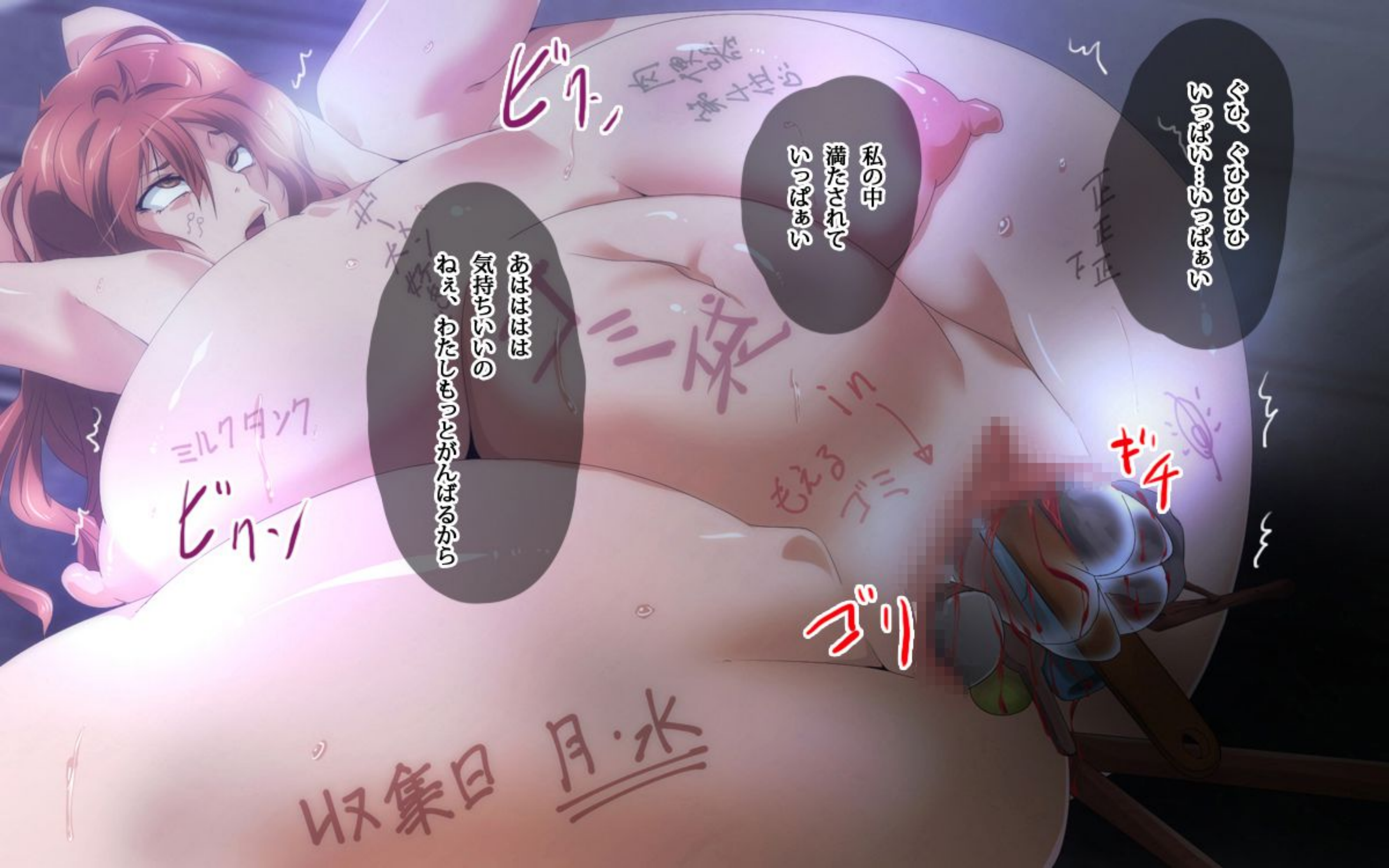
いかないで！
めちやくちやにしているからー！
お腹破裂してもいいからー！
し、子宮だけじゃなくて
腸も、胃も、お、おっぱいの中でも
だから、捨てないで！
私は、私を！

ゾッ
ババ

月・水

又集日





びん、

私の中
満たされて
いっぱい

あはははは
あはははは

あはははは
気持ちいいの
ねえ、わたしもいそいそがら

びん、

ニん

グッ

びん

水月日集



おほおほおほ

んはあ

おほおほおほ
がは

げほっげほっ

あははは...
きもちよきもち
さしほさしほ

たったっ

ニルン

氷月日集

おほおほ

ニャアアア

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ







下

下

ちゅ

ちゅ









↑

おっぱい

お尻





ん

ん

ん













トヨルルル



んぽあ

ん
ん

んっ...





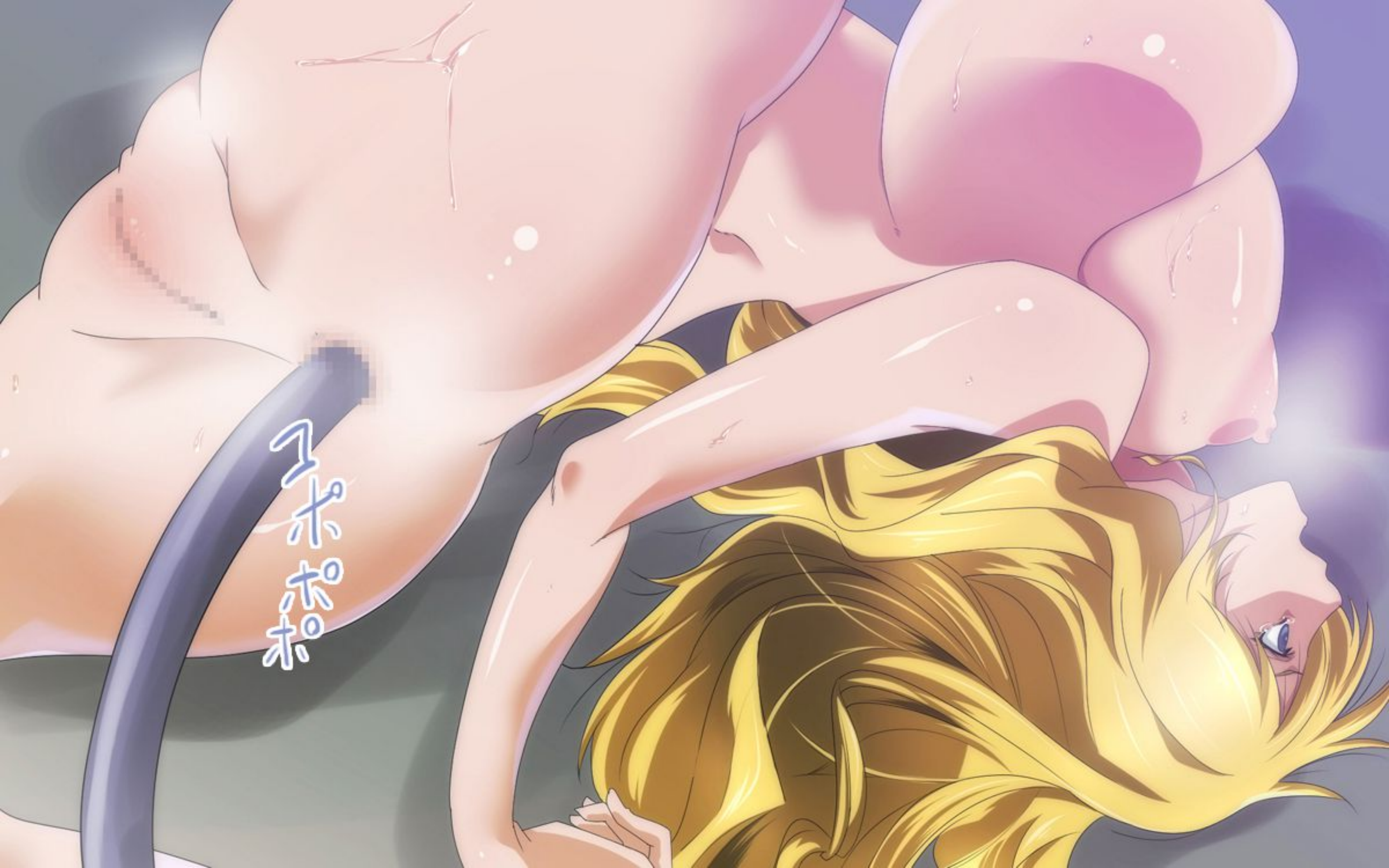


ポト

びしょ

びしょ

ん



とくとく



↑
↑
↑





グッ
グッ

ドブ
ゴッ

!

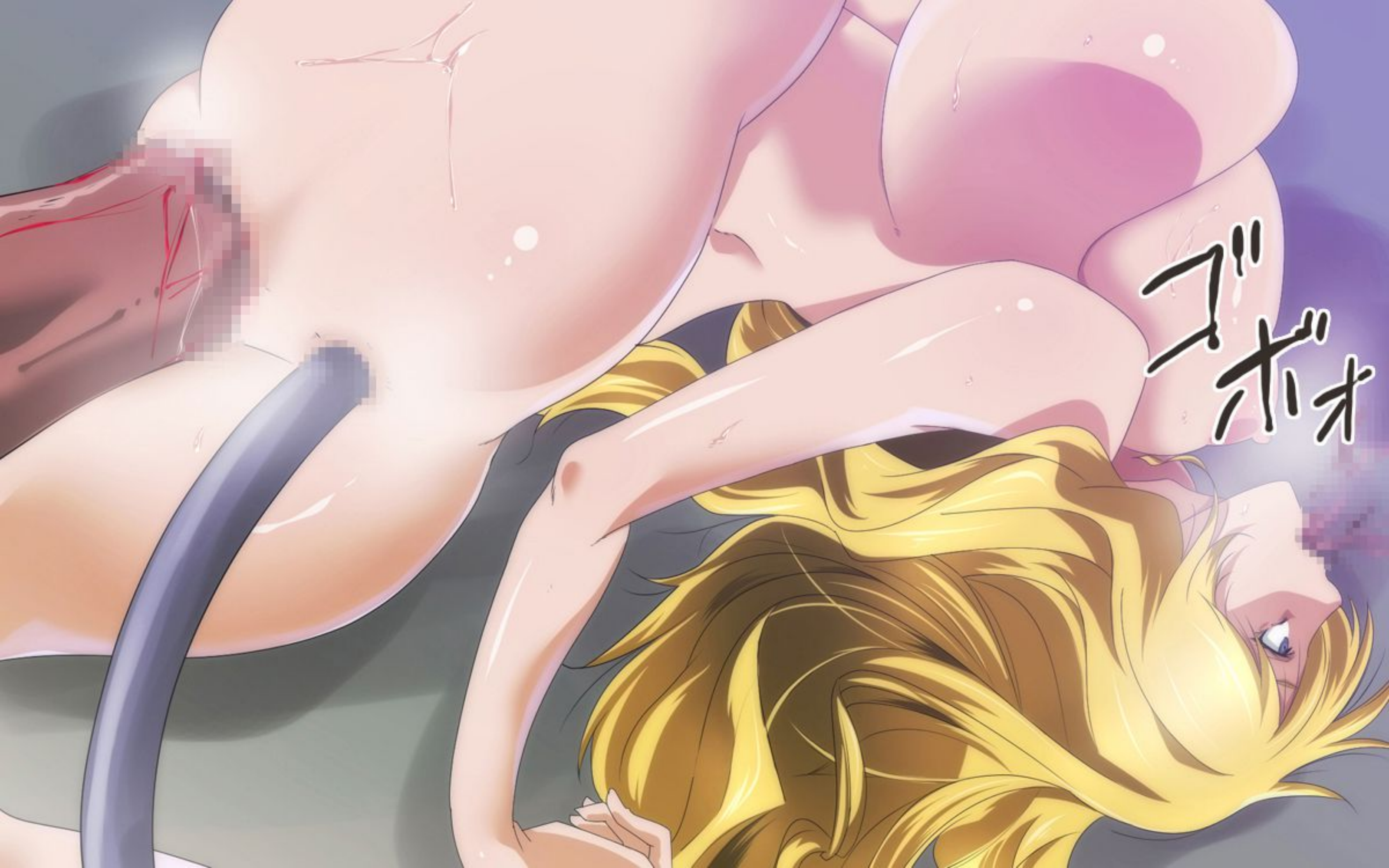
!



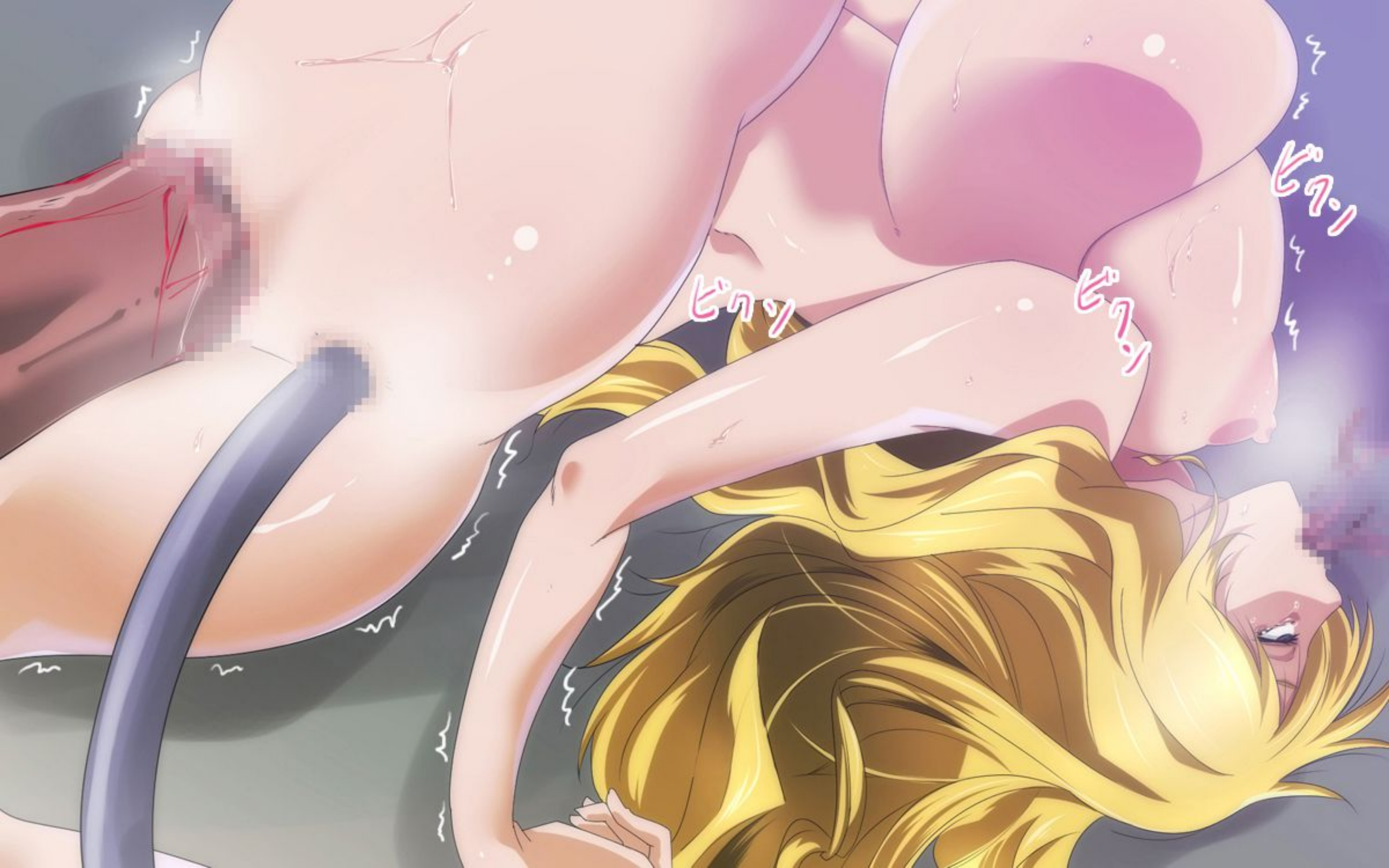
グボポ

ゴゴ

ググ



ゴッポオ



ニギギ

ニギギ

ニギギ

ニギギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ

ニギ





ドギョ



カキカキ

カキカキ

カキカキ

カキカキ

カキカキ..





ビョ

ビョ

ドギョ

ドギョ

ビュ

ビョ

ビョ

グボ

ビョ

ズイ

ズイ



かっ...

あ
あ
あ

かほ...

かっ...

2000







ビクッ

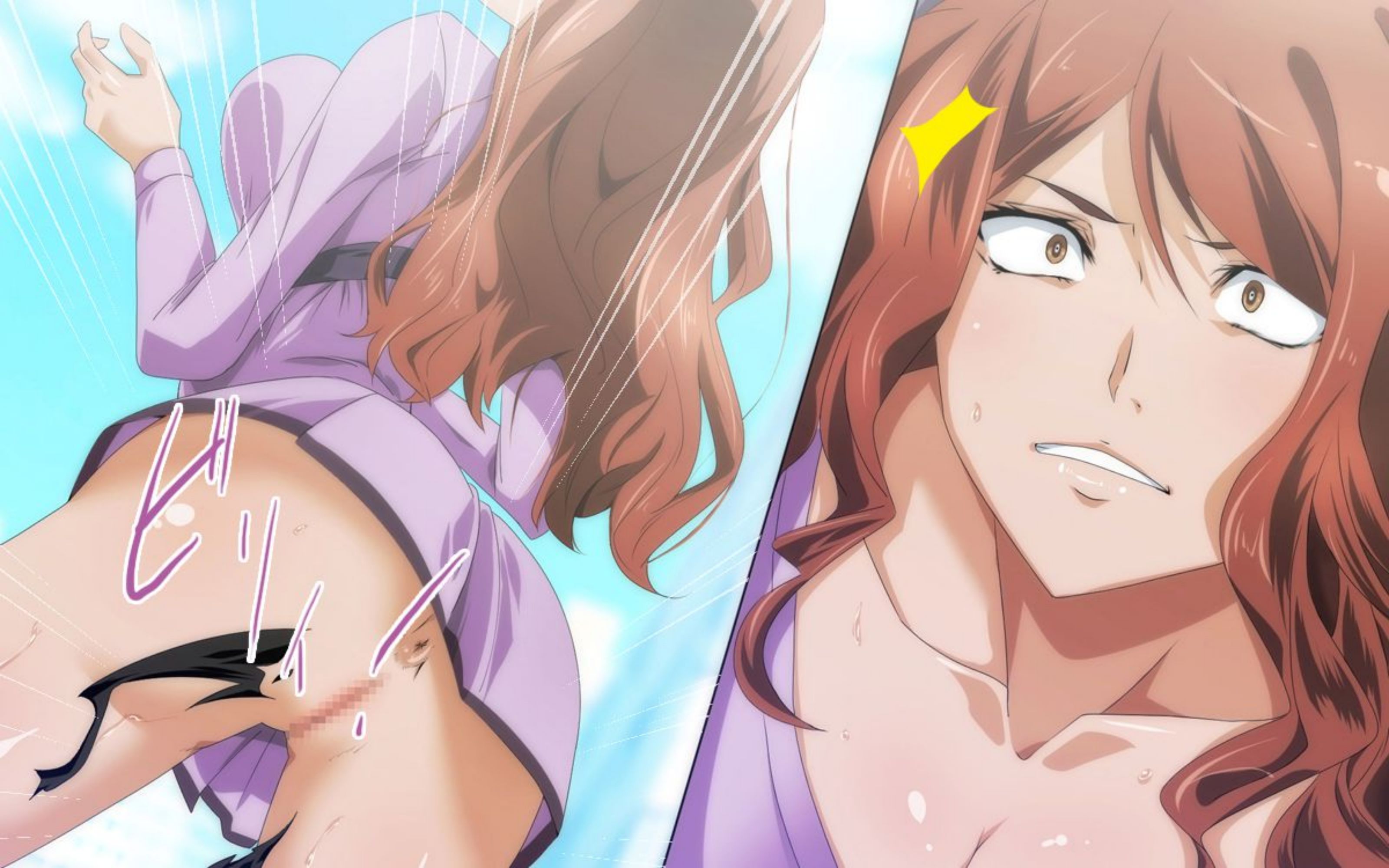
ビクッ

ズルッ

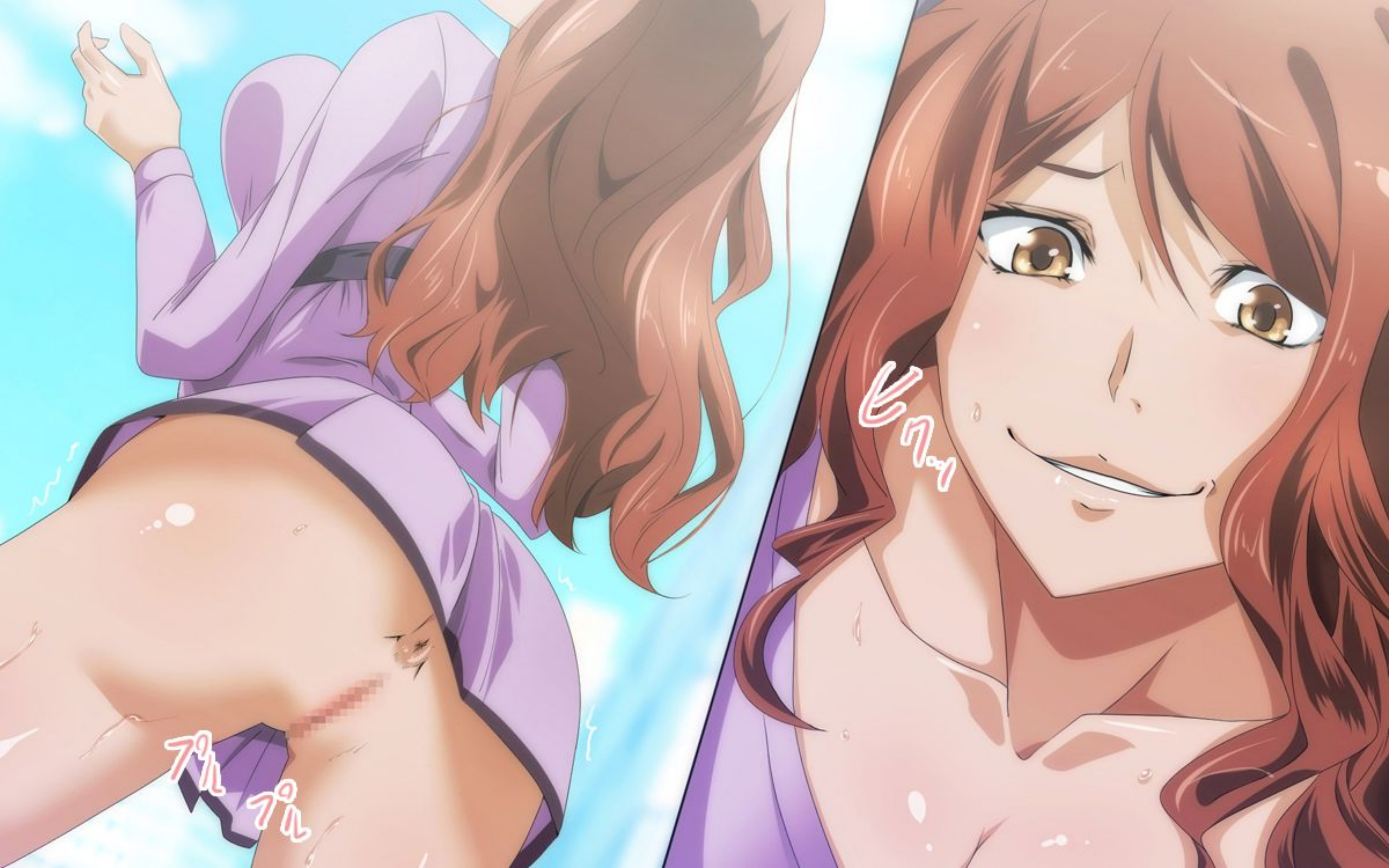
ゴクッ

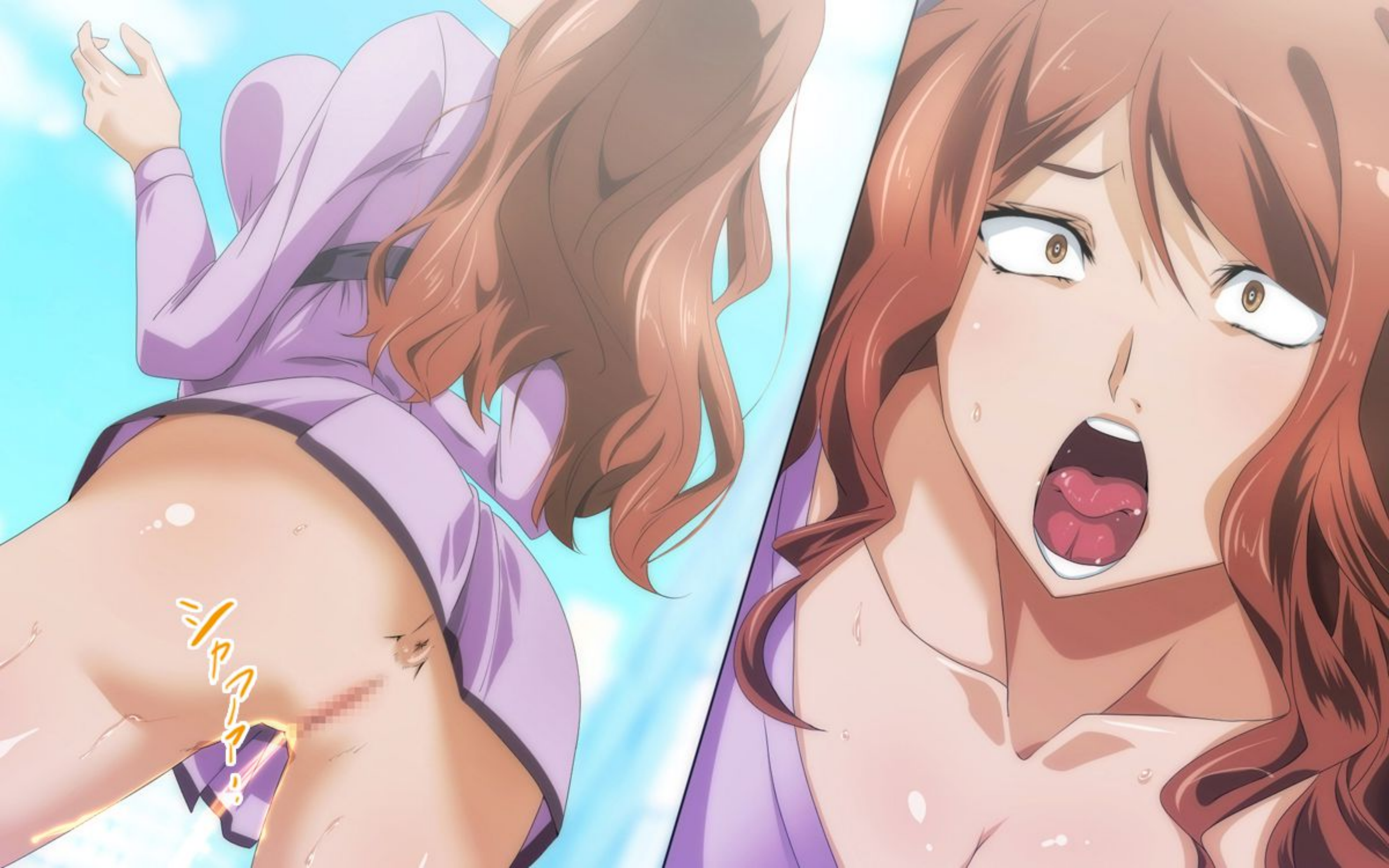
2000

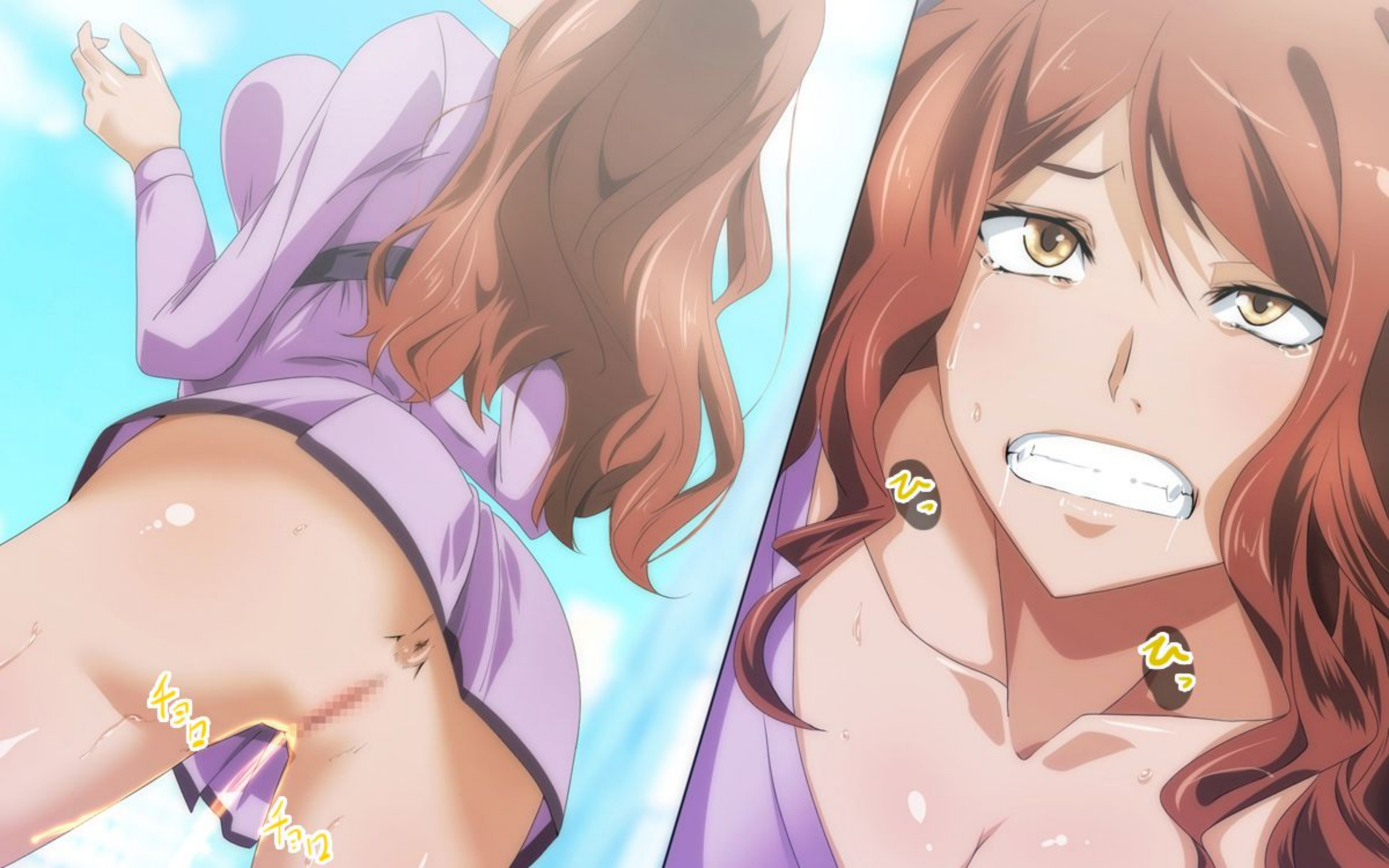
















クッ
ッ

ソルッ

クッ
クッ
ッ







4ガ
ガビガ





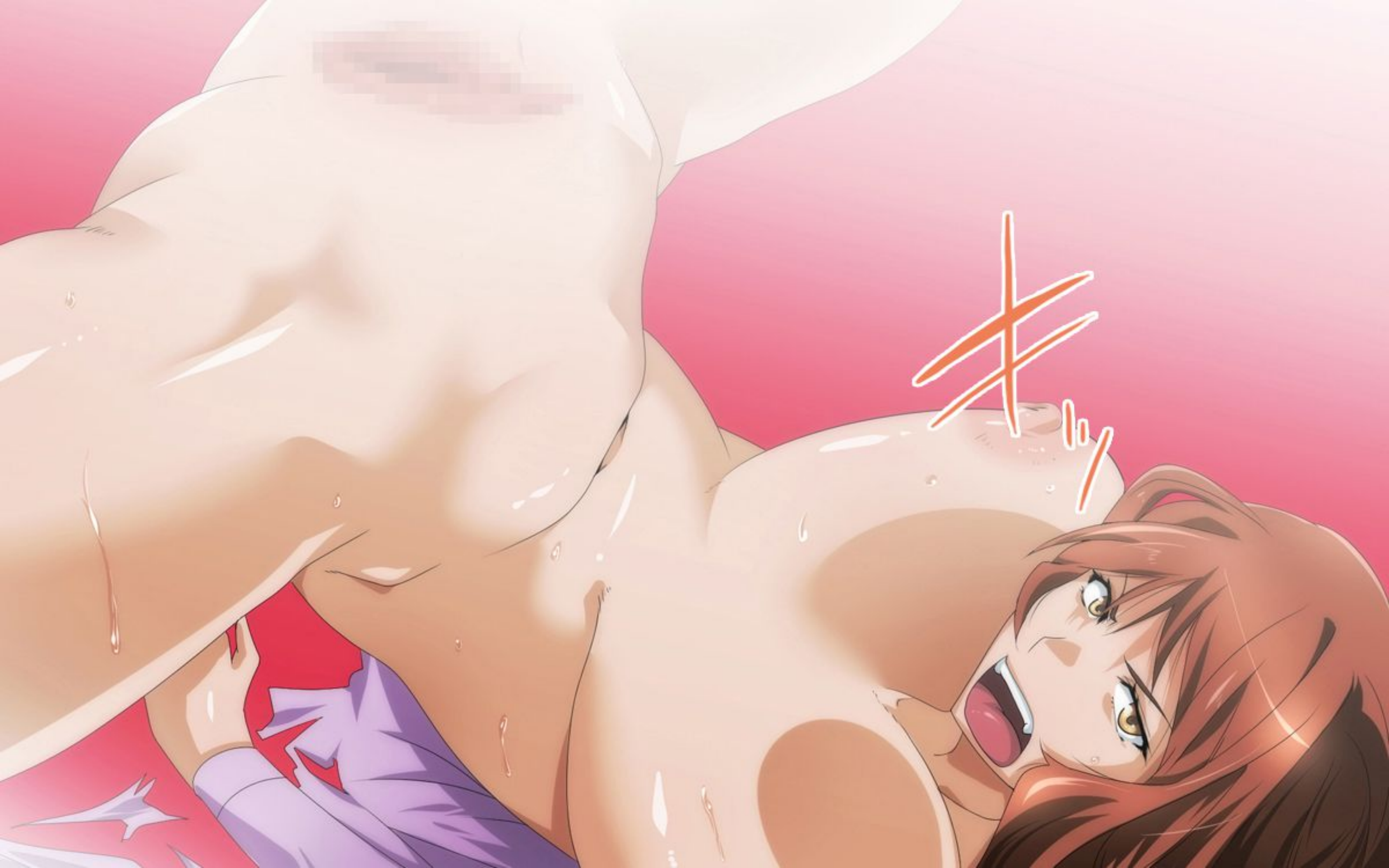
泣いてる



かばっ

くっ











グニャ

ビュッ

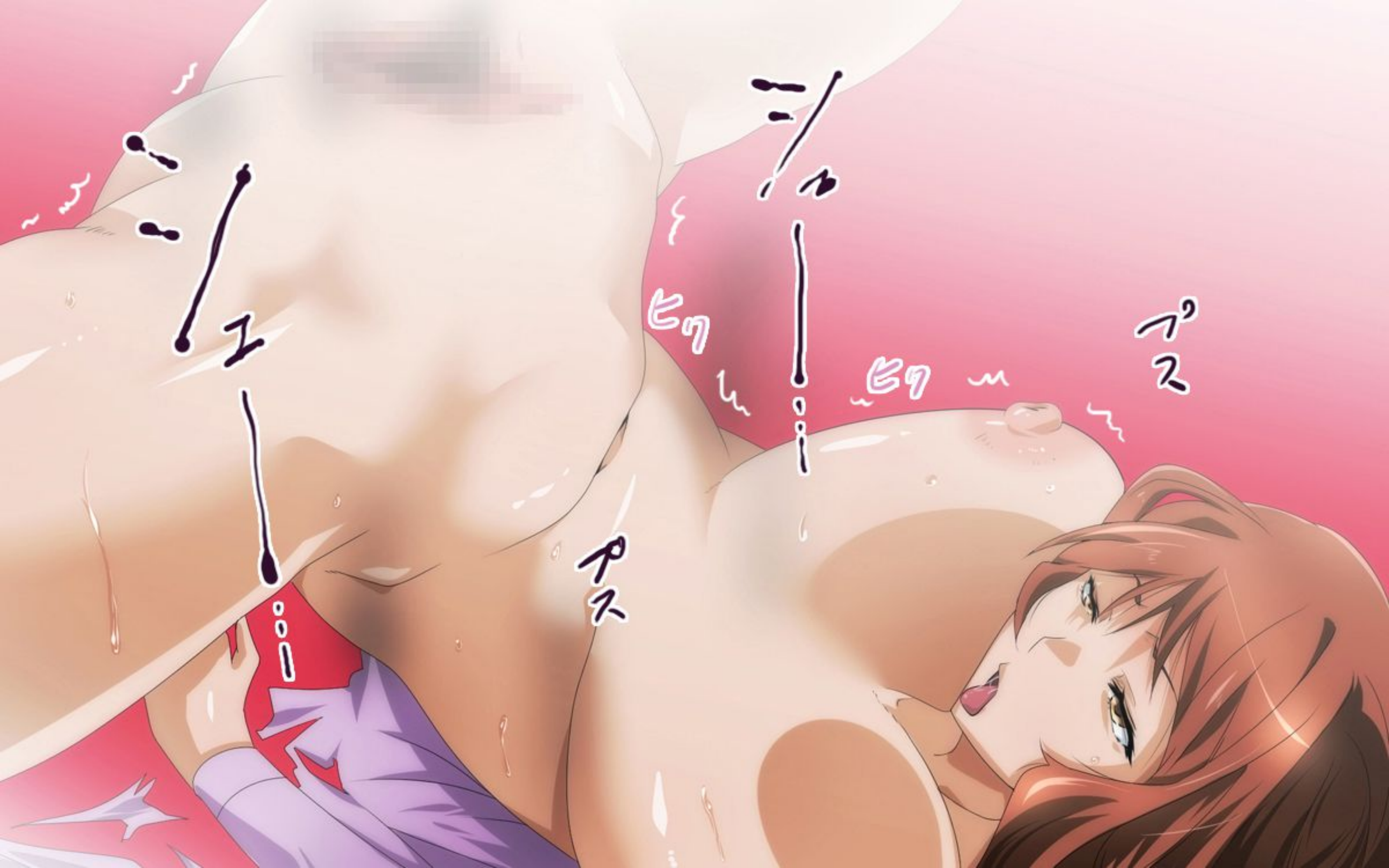
ビュッ

ビュッ

グチャッ
グチャッ
グチャッ









グワン..

ぐわ

ぐわ



アッ

アッ

ジーン



ドレキッ



ハ

ハ

ハ





ア
ッ
ッ
ッ



たっ
たっ

たっ
たっ

ぎゅ

ぎゅ

おぼ



アッ
ハッ

アッ

ハッ



ん

ん

ん

ん-んんん



↓
↑
↑
↑

↑
↑

↑
↑
↑



びびり

オホッ



おん!

ニ

4





月・水
又集日

正正正
下正

ニルマツク
又集日

タニタニ

まじる in

ニルマツク

又集日 月・水

タニタニ



知~~キ~~

月・水
日集又

正
正
正

知~~キ~~
知~~キ~~
知~~キ~~

知~~キ~~

知~~キ~~
知~~キ~~

知~~キ~~
知~~キ~~



知~~キ~~..

日集又 月・水

知~~キ~~

知~~キ~~



阿彌陀佛
阿彌陀佛

アム

正
正
正

アム バク

アミ

アム
アム

アム

水日集又



ビッ

アミイ

正正正
正

ニルマツ

アミイ

みえる in

ビッ

ニルマツ
ビッ

グッ

又集日 月・水



月・水
日集又

正
下正

ハク
ニヤ
ア?

アニメ

ハク

ニヤ

ニヤ
ア?

ニヤ?
ア?
ア?
ア?

日集又 月・水

ホウ
ホウ















































